

作業開始前に本書を必ず一通りお読みになり、内容をよく理解してから作業を始めて下さい。

HONDA GB350 (2BL-NC59) POWER BOX サイレンサー 取付説明書



<取付所要時間の目安>
約15分

※ GB350 S への装着不可

<商品内容>

- | | |
|-------------------|----|
| ① POWERBOX サイレンサー | ×1 |
| ② ステンレス・カバー | ×1 |

⚠ 耐熱ブラック塗装仕様をお買い上げのお客様へ

塗装面に手垢など、汚れが付着しない様に素手による作業は行わず、必ず軍手などの手袋をしながら作業して下さい。
また、塗装面に傷を付けない様にウェスやビニールを巻いておくなど、あらかじめ養生してから作業する事をおすすめします。

- ※ 説明書内の写真は試作品の為、実際の商品とはパイプの形状等、一部異なる場合があります。
- ※ 作業は平坦な場所でエンジン、マフラーが完全に冷えた状態で行なって下さい。
- ※ 作業時のキズ付き防止の為に、マフラー取り付け部廻りの塗装部分にはあらかじめガムテープ等を貼って養生しておく事をお勧めします。
- ※ 説明書内の写真はステンレスポリッシュ・タイプを使用しています。

① 純正サイレンサーを取り外します。 ※センタースタンドを立て、車体を安定させた状態で作業します。



サイレンサーバンド



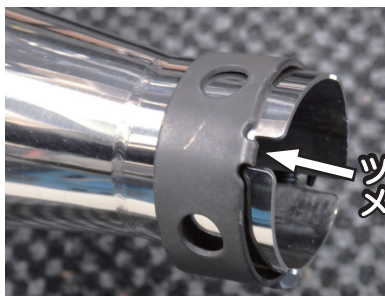
サイレンサー上部



純正サイレンサーを固定している2ヶ所を緩め、サイレンサーボディをエキゾーストパイプから抜き取ります。ボルト類はあとで再使用します。

純正サイレンサー差し込み口のバンドとボルトを取り外しておきます。(あとで再使用します。)

② POWERBOX サイレンサーを仮組みします。 ※POWERBOX パイプ、または純正パイプ、どちらと組み合わせても取り付け方法は同じです。



ツメ

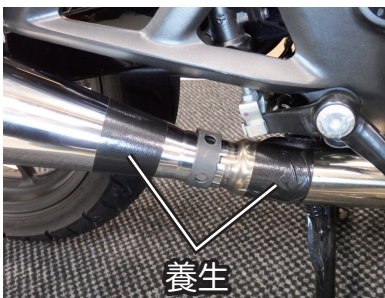
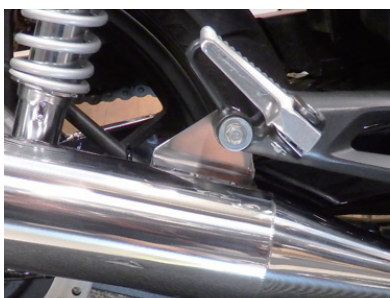


POWERBOXサイレンサーの差し込み口に純正マフラーから取り外しておいたバンドを仮組みします。バンドの固定位置は決まっています。一箇所切り欠きが広がっている部分にバンドのツメを合わせて組み付けます。

バンドを仮組みしたPOWERBOXサイレンサーをエキゾーストパイプに挿入します。組み付けにはジョイントガスケットは使用しません。その代わりに組み付け後の排気漏れを防ぐために液体ガスケットを内側に塗っておく事をおすすめします。(別途ご用意下さい。)



サイレンサーの黒塗装部分を汚したり、傷つけない様にご注意下さい。梱包材が巻かれた状態で保護しながら作業する事をおすすめします。



養生

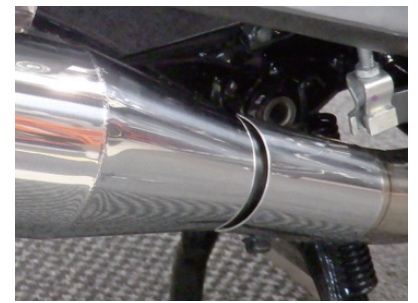
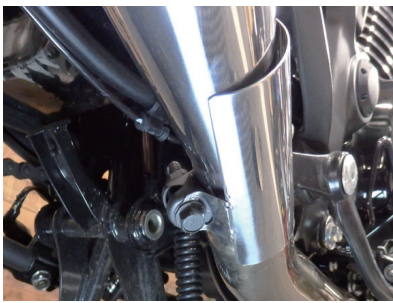


固定穴

サイレンサー上部のステーを仮止めします。純正サイレンサーと同様にブラケットの内側にステーを配置して固定します。(ボルト類は純正品を再使用)

付属のステンレス・カバーを取り付けます。あらかじめマフラー側にガムテープやウェスで養生をしておくこと傷つきを防げます。

ステンレス・カバーの固定穴をサイレンサーバンドのボルト穴の上に重ねる様にしてはめ込み、位置を決めます。



サイレンサーバンドのボルト穴の上にステンレス・カバーの固定穴を合わせ、ボルトを通して仮締めします。(純正のボルトを再使用。)

ステンレス・カバーの後ろ側とサイレンサーボディとの間には隙間ができますが、問題ありません。

③ 各部の隙間、取り付け状態を確認し、仮止め状態の各部本締めを行ないます。



【ステンレスポリッシュ仕様の場合】

本締めを終えましたら、無塗装部分に付着した汚れや油分をパーツクリーナーでしっかりと拭き取ります。汚れや油分がマフラーに付いた状態でエンジンをかけて熱が加わりますと後で落とすのが困難になりますのでご注意ください。耐熱塗装部分につきましては、パーツクリーナーなどの有機溶剤を使用して拭き上げる事は絶対にしないで下さい。塗装が剥がれてしまいます。耐熱塗装は最初に熱が加わる事によって徐々に定着していきますので、マフラー装着後に30分程度の走行によってしばらく熱入れを行なって下さい。走行風で冷やしながらか熱入れを行なうことが理想です。ご使用開始間も無い頃、マフラーが完全に冷える前に水をかけたりウェスなどで拭き掃除をすることも絶対にしないで下さい。



【耐熱ブラック(全塗装)仕様の場合】

本締め後、パーツクリーナーなどの有機溶剤を使用して拭き上げる事は絶対にしないで下さい。塗装が剥がれてしまいます。塗装面には汚れを一切付けない様に保護しながら作業を完了させる様にして下さい。汚れが付いてしまった場合には水を含ませ、固く絞った綺麗なウェスで優しく拭き上げて下さい。耐熱塗装は最初に熱が加わる事によって徐々に定着していきますので、マフラー装着後に30分程度の走行によってしばらく熱入れを行なって下さい。走行風で冷やしながらか熱入れを行なうことが理想です。ご使用開始間も無い頃、マフラーが完全に冷える前に水をかけたりウェスなどで拭き掃除をすることも絶対にしないで下さい。

④ エンジン始動後、装着状態に問題の無い事が確認できましたら作業終了となります。

⑤ エンジンを始動して、排気漏れがなく、装着状態に問題の無い事が確認できましたら作業終了です。

- ※ マフラー装着完了後も取り付け状態やボルトの緩みのチェックは定期的に行なって下さい。
- ※ 装着直後はマフラー内部に残った油分や塗料の油分により、白煙や臭いが発生する場合がありますが30分程度走行して熱入れを行なっていただければ収まって行きます。
- ※ 製品の構造上、ご使用状況によってはアフターファイヤーが発生する場合がありますが、性能や耐久性に問題が生じるものではありません。
- ※ 製品によってはパイプやサイレンサーの一部に小さな穴を空けています。これは水抜き用に設けられた穴ですので特に問題はありません。
- ※ しばらくお使いいただく内にマフラー接合部から排気漏れや水滴がたれてくる事があります。この事は性能に大きな影響を及ぼす様な異常とはなりません、著しく排気漏れが発生している場合には再度接合部に液体ガasketを塗って組み直す事をおすすめします。

※【グラス・ウールは消耗品です!】

マフラーの使用期間・使用状況によっては、音量が大きくなる事があります。
使用距離: 10,000km毎を目安にサイレンサー内部消音材(=グラス・ウール)の交換をお勧め致します。
(詳細は弊社までお問い合わせ下さい。)

上記の内容を良くご理解いただいた上でご使用下さい。